

北部地区中学校国語科研修会報告書

2020.11.6

日 時	2020年11月4日(水) 15:00~17:00
研 修 名	「北部地区中学校国語科研修会」
研修の目的	北部地区の中学校国語科教員の指導力の向上及び効果的な授業づくりについて講話を通して理解を深め、授業力の向上を図る。
テ ー マ	新学習指導要領を踏まえた書くことの授業づくり ～「書く指導」と「書く活動」の違いについて～
講 師 名	上江洲 朝男 先生 (琉球大学 教職センター 准教授)
会場・場所	北部生涯学習推進センター (研修室)
研修内容	<p>1.子ども達に求められている力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見したり、解釈したり、分析して何が必要か。どうすれば良いのかを自ら考え、対話を通して解決に向かっていく生徒を育成する。 <p>2.学習指導要領改訂のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質能力に基づく評価観点の整理 ・学習評価に指摘されている課題 ・学習評価の改善の基本的な方向性 <p>3.書くこととは?</p> <p>○書く力とは?</p> <p>ア 題材を設定する力 (相手、目的意識) 情報を収集して、内容を検討して、取捨選択する力</p> <p>イ 構成を検討して決める力</p> <p>ウ 伝わりやすくなるように決める力</p> <p>エ 読み手の立場に立って文章を整える力</p> <p>オ 感想や意見を伝え合う力</p> <p>4.単元構想と授業づくり</p> <p>Step1 単元で取り上げる指導事項の確認 Step2 単元の目標と言語活動の設定</p> <p>Step3 単元の評価規準の設定 Step4 単元の指導と評価計画の決定</p> <p>Step5 評価の実際と手立ての想定</p>
成果／活用策	<p>○読むことの指導において、書く言語活動を評価することはできているか指導の際、混合してしまっていることが多い。今日は指導ポイントや指導事項との関連が分かりやすくて良かった。</p> <p>○今回の研修を通して新学習指導要領で示されている「指導すべきこと」をどのように授業に落とし込むか、ということについて多くの学びを得ることができました。</p> <p>○「書く力」を身に付けさせるために (題材から文章の良いところ) ア～オの事項を意識して授業実践に取り組みたい。</p> <p>○評価の仕方、授業づくりなど参考になった。 交流をさせたい場合は疑問/違いがあるかを意識して指示をすること。新卒採用に求められている力や企業の入社試験問題なども生徒に提示しても面白いかなと思った。生徒に目的を持たせて「書くこと」に取り組ませる。 (実際に作者に送るなど)</p>



- 授業を持つこともあると思うので、授業づくりの流れを経験してみようと思う。単元目標と評価のリンクなど、実際にやってみないと身につかない。
- ぜひ明日から授業で取り組みたいことがたくさんありました。特に評価に関しては、見本例と基準ともにとっても分かりやすかったです。頂いた指導案は本校でもやってみたいです。
- 質問ですが、他教科とあわせて書くことを集中して行った時に、具体的にどのようなやり方をしたのか知りたい。(共通のまとめを行った・・・とか、〇〇の言葉を使うようにした) など。
- ブロック研で代表授業を行って、本研修に参加したのですが、できれば授業の前に上江洲先生の話の聞けるとな良かったです。
- 指導・助言に大いに役立つ説明が分かりやすく、イメージしやすかったです。
- 新学習指導要領のポイントを抑えた指導案の作成について、再度、確認することができて良かった。
- 「書く力」ってどんな力？という問いに「題材の設定」、「情報の収集」等が挙げられていた。
- これから年間指導計画を作成するので、授業での評価の仕方等に活かしたい。また、グループでの交流の仕方等、活用できる内容があった。
- 「書くこと」を全教科で取り組むことが大切だということ、それが思考力、判断力、表現力につながるということ、小学校では取り組みやすいと思うので、ぜひ実践に繋がりたい。
- 「書くこと」の指導は毎回難しいなと思って悩んでいました。今回の研修で指導の仕方が分かったので、次から実践してみます。
- 評価観点の整理や学習評価について理解することができました。日頃の授業構成の中で指導と評価の計画のズレがないよう丁寧に行っていきたいと思います。
- あいまいだった「書くこと」と「書く活動」の違いが良く分かりました。新学習指導要領を踏まえた授業づくりのポイントをおさえることができました。次年度へ向けて評価のあり方等、もっと勉強しなければならないと改めて思いました。
- 何となくの理解で作成していた指導案だったが、指導要領とのつながり等、stepで説明してもらえたので、よく解った。これからの授業は、評価問題を先に作って(作れなくてもイメージして)取り組んでいきたい。
- 「書くこと」と「書く活動」の違いをはっきりと区別しないまま授業を行っていたと気付かされました。「書くこと」の授業づくりをもっと注意して取り組みたいです。
- 新学習指導要領の三観点と評価の観点及び評価内容の方法を知ることができて良かった。
- 今後は評価問題を先に作成して、それに向けた授業等を取り入れながら生徒の力が向上することを目指したい。(新学習指導要領を踏まえた年間計画作成と授業づくり)
- 「書くこと」の指導では、校正記号を用いて(自分で考えて判断)推敲させ、思考の跡を残すことが大事。
- 具体的な授業づくりの方法や評価方法等をお話いただき、とても参考になりました。特に評価について学ぶことが多くありました。



	<ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」における書く活動と、「書くこと」の整理ができた。混同しないようにしたい。 ○「読みとり」は「書いたもの」、「話していること」によって、どう読みとったのかを確認することの再確認ができた。 ○書く活動と書くことの違い、指導の仕方、方法に迷っていましたが、どのようにしたらよいか分かりました。 ○学習指導要領改訂のポイントがとても分かりやすく説明して頂いたので理解しやすかったです。次年度からの授業の評価についても（新旧の違い）がよく理解できました。 ○次年度に向けての評価や子ども達に求められている力等を知ることができたのは、今後に向けて大きな成果だと思います。 ○評価について、まだまだ理解できていない部分もあるが見通しがもてた。
感想／要望	<ul style="list-style-type: none"> ○書くことの指導が社会生活とどう結びついているのか（入社試験）がよく分かる内容であった。 ○今年初めての研修で、やっぱりこのような研修が必要だと思いました。コロナで殆どがオンライン研修となりとても残念なことも多い中での今日の研修は良かった。 ○後半（1月か2月）に鑑賞で「書くこと」をするので、今日の学びを是非使っていきたいと思います。また、1分スピーチもやってみようと思います。 ○当然のことではあるが「指導したこと」を「評価する」ことについて、改めて考えることができた。推敲の仕方をまともに指導せず推敲をさせた経験を思い出し、反省していました。非常にためになる研修でした。ありがとうございました。 ○実践で生かしていきたいと思います。評価の設定をさらに細かく（手立てC評価）を設ける。 ○推敲を自分で出来るようにするためには、どのようにしたら良いのか考える機会となった。単元の目標と評価を合せることを再認識できた。 ○読みは見えないから表現させて見取る。（たしかにそうだったと思った。） ○総じて、子どもが書こうとするために、どのように支援するかということを絶えず基本において、先生方と関わっていきたくと思いました。 ○上江洲先生の話しは非常に分かりやすく、今後の実際の授業づくりや教育活動に生かせる内容でした。 ○大勢の児童生徒を評価する方法など、学ぶことが多かった。（アイデアもいっぱい貰えました。） ○「書くこと」の取り組みの実践例（観賞 文）が参考になった。授業実践での活用に取り入れたい。 ○「書くこと」において推敲では、改善策や良い点を挙げることで生徒の受け止め方に違いがあることがわかりました。 ○講師の説明がとても分かりやすく理解しやすかった。授業の中での生徒の見取り方がとても参考になった。 ○「聞くこと」と「読むこと」を混同して捉えていたことがわかりました。（「読み」は見えない、だからこそ「話す」「書く」で



アウトプットさせること)

- 推敲の大切さ、自分の文を自分で推敲できる力を育てることの大切さに気づかされました。
- 「先に評価問題から作成して授業を考える」という発想が学びになりました。今までやったことがなかったので挑戦してみようと思いました。
- 書いたものを広げる（先生だけ、評価のためのものではない）読むことの「書く」と書くことの違いを明確に知ることができた。
- 「書くこと」だけではなく普段の授業でも取り入れられる具体的な授業改善のヒントもたくさんあり、大変参考になりました。実践していきたいと思います。
- 評価につなげない評価も大事であるということ。
- 現行の学習指導要領から新学習指導要領に移行する時期に何が求められていくかをはっきりと知ることができました。自分の表現力や発想力が試される世界に子ども達は飛び込んでいくのだと意識し、子ども達の力となる授業づくりをしたいと改めて思いました。
- 評価基準の書き方や単元目標と評価の観点のつながりを再確認できました。
- 読むことの中の書く活動と書くことが混同しているのではないかと。系統を明確にした計画的な指導を……。清書だけで評価判断するのではなく途中の思考も大切に。
- 「指導と評価の一体化」のための参考資料をしっかりと読み込んで、児童生徒の学習改善、自分自身の指導改善につながるよう評価したいと思います。
- 「人には、それぞれ合った学び方がある」は、ハッとさせられました。目の前の生徒（いろいろな生徒）が活躍できる場、学習課題の工夫をしてみようと思います。
- なかなか時間をとって学習することのできない内容であるので、貴重な時間でした。また、一人で学習することの難しい内容でもあるので勉強になりました。
- 説明、お話もとても分かりやすく実践しようと思いました。新しい時代を生きる子ども達の将来の力になるために、どのような指導をすべきか考えるきっかけになりました。私も新しいことを学んで行かなければならないと感じました。
- 「書くこと」の指導の充実を図るために大事なポイントを説明して頂いたと感じています。早速、教えていただいたことを役立てていきます。（特に清書をさせながら良い点を見つけ出させて交流を終える点は目からウロコでした。）
- 「書くこと」、「読むこと」どちらかと問われたときは迷ってしまいます。「読み」は見えない→表現させて見取る→「話す」か「書く」か。
- 「書くこと」と「書く活動」の違いが分かりました。思考ツールを活用しながら取り組んでいきたいと思います。
- 「書くこと」自体の理解が不十分な点があり、生徒が意欲的に書こうとする言語活動になっていなかったと反省している。「書く力」についても自分なりの解釈が乏しく授業の中に生かされていないように思われる。
- コロナの影響で、オンラインにせざるを得ない状況だと思いますが、やはり直接に見聞きしての研修を今後も開催してほしいです。
- アドバイザーや講師の方の実際の授業が見たい。（録画などでも良いので）どのように実践されていたのかを実際に見て学びたい。



- せっかく学習指導要領などを持参し、グループもあるので、それを活用した研修ができれば更に良かった。
- 評価するためのツール紹介や成績を実際に皆でつけてみるなどの研修があるととても助かります。
- 授業研もあると良いですね。
- 小学校国語の授業づくり、算数の授業づくりの研修の実施。
- 单元ごとにテストをしたり、作品を作らせたりしていると評価が追いつかない。国語科の先生方の時間の上手な使い方等も知りたい。
- 「動いたり、実際に試してみても学ぶ」、「フイーリングや感情、直感を大切にしながら学ぶ」という国語の活動も研修で学んでみたいです。
- 実際の評価の仕方について、もう少し具体的に教えてほしい。1年の最初（オリエンテーション）の授業で生徒に配布する資料の作り方など。



<アンケートの結果>

目標参加者数	35人	参加者	32人	参加率 91% 参加率=目標参加数÷参加数
アンケート回収数	28件	回収率	88%	回収率=回収数÷参加者数 (%)

アンケート項目	評価4		評価3	
	研修の時間について	適当であった	26人(92.9%)	まあまあ適切であった
興味を引く研修内容か	非常に良かった	27人(96.4%)	良かった	1人(3.6%)
今後の教育活動に活かそうですか	非常に活かそう	26人(92.9%)	まあまあ活かそう	2人(7.1%)

※評価2. 評価1は0であった。